

平成25年度 菅平小・中学校グランドデザイン

児童生徒の特質

- ・素直で純朴である。
- ・少人数で、付き合いが長いので、友達のことをよく知っていて、支え合いが自然にできる。
- ・異年齢の友だちとも仲良くできる。
- ・活動的で、作業などに熱心に取り組める。
- ・課題が明確になると主体的に取り組める。
- ・指示を待ってから動くことが多く、活動が受け身になりがちである。
- ・人間関係が固定しがちで、友だちの新たな良さや新しい見方に気づきにくい。
- ・勝ち負けにこだわりすぎることがある。

地域の特質

- ・開拓の歴史に立脚した農業と観光という独自性のある地域である。
- ・稼業の後継者が育っている家庭が多く、三世代の家族がかなりある。
- ・児童・生徒及び若者への期待が大きく、シーズン中は大切な働き手として活躍する。
- ・学校教育に対しての期待が大きく、諸行事、スキー活動等に協力的である。
- ・雄大な自然に囲まれ、自然資源を生かした学習研究施設もある。

学校の特質

- ・地域の中心としての役割を持ち、スキー活動等、地域の協力が得られる。
- ・小中併設のへき地・小規模校として小中一貫教育を行っている。
- ・スキーを校技とし、全校で取り組んでいる。

学校教育目標

郷土を拓く大地の教育

めざす子どもの姿

- ① 自分で考え、判断し、行動できる子ども
- ② 自分や友達の良さを認め合える子ども
- ③ 仲間と協力して課題を解決していこうとする子ども
- ④ 自らを鍛える逞しい子ども
- ⑤ 郷土に誇りを持ち、郷土を愛する子ども

本校の強み

- 1 少人数学習集団
- 2 厳しさと豊かさを併せ持った大自然に囲まれた環境
- 3 小中一貫教育による9年間を見通した教育活動
- 4 学校への協力を惜しまない、保護者・地域

本年度の重点目標

(1) 自ら進んで学習を進められる児童・生徒の育成をめざす

<重点活動>

- ①小中連携の中で、学習内容の系統を意識した児童・生徒の学びの質の向上を図るためのITのあり方を研究する
- ②中学校3年生時の学力を意識した、9年間の学習の過程のあり方や、各学年の発達に応じた指導のあり方を研究する

(2) 互いの良さを認め合い、前向きに取り組む集団生活をめざす

<重点活動>

- ①教師自らが子どもの良さを伝え、児童・生徒の意識を啓発する
- ②小中それぞれの段階に応じた、コミュニケーション能力やよりよいかかわり方を身につける

(3) 菅平の産業に学び、郷土に生きる人材を育てる

<重点活動>

- ①地域との交流を通して、この地に生きることの喜びを実感させる

教科指導の重点

国語 相手の立場を考えて、適切に話し、書き、読み、聞くための指導

社会 生徒自身が課題追究を意欲的に進めるとともに、級友との学び合いによって様々な面から社会事象をとって思考を深める指導

算数・数学 答えを導く中で、「なぜ、そうなるのか」を相手に伝える指導

理科 自ら学び、仲間と学ぶことを通して「理科は感動だ」を実感させる指導

音楽 毎時間の課題を明確にして、授業記録と授業反省の蓄積を行う。歌唱における発声指導と曲想指導

図工・美術 表現や鑑賞の活動を通して、創り出す喜びを実感する。

体育・保健体育

自らの身体の調子に気づかせながら、仲間と共にお互いの向上を認め合う姿勢を育てる

技術・家庭 家庭生活を振り返り、自分なりの課題を持って製作に取り組むと共に、互いの製作の良さから学び合うことのできる指導

英語 積極的にコミュニケーション活動を行おうとする態度の育成のための指導

生活 子どもに自分の気づきを自覚させ、仲間同士で気づきを伝え合いながら、気づきの質を高める指導

総合的な学習 課題の解決を目指す中で、友だちと考えを発表し合ったり助け合ったりして、共に追究していこうとする態度を養う。

スキー科 仲間と協力して活動に取り組みせ、互いを認め合う場面を設定する。自らの取り組みについては、日誌等を累積させ、自己課題を持って追究していく姿勢を育てる。

外国語活動・英会話科

英会話やジェスチャーを用いて教師や友だちとコミュニケーションをとる（仲間と学ぶ）ことを主体とし、コミュニケーション能力の育成を図る。

・小中9カ年を見通した指導計画づくりを進める。

道徳教育指導の重点

身近な友だちの姿に道徳的価値を見だし、共に認め合えるための指導

特別活動指導の重点

[学級会活動] よりよい学級集団を目指して、互いの生活の仕方や考え方の良さを認め合っていけるような体験活動や話し合い活動を進める。

[児童会] 日常的活動、奉仕活動、行事的活動の三本柱にめりほりを持たせ、特に当番活動等の日常活動を徹底させる。また、行事活動においては、独自性かつ創造性のある活動を計画できるようにし、委員長会を定期的に関き、横のつながりを持たせる。

[生徒会] 生徒が自分たちで考えて行動できるよう、指示は最小限にとどめることを基本としながらも、特に時間を守れるよう援助する。

[学校行事] 全校または学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、集団への所属感を深め、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行う。

特別支援教育指導の重点

一人一人の障害の状況や教育的ニーズを全職員で共通理解し、その子の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服できるよう支援する。

人権同和教育指導の重点

- ・人の痛みがわかり、お互いを認め理解し、差別や偏見のない学級づくり、学校づくり
- ・参加型体験学習を取り入れ、お互いに認め合い解決の方向が見える明るい人権同和教育を進める。

生活・生徒指導の重点

小中併設校であることを生かし、一人一人の生徒について小中の全職員が理解し、9年間を見通した指導に努めるとともに、一人一人の個性の伸長を図る。

《自ら学ぶ・仲間と学ぶ》

《認め合う心》

《自ら鍛える心と体》

子ども理解年